

# 「親育」スケジュール

- 1月15日(水) 子ミュカ®ゼミナール第58回【発達段階シリーズ③】  
「子どもの発達段階～保育の現場から～」  
10:00～11:40 ウィンクあいち1005会議室【愛知県名古屋市】  
担当：岩淵 優子
- 2月12日(水) 子ミュカ®ゼミナール第59回【発達段階シリーズ④】  
「主体性のある子どもを育成するための  
声かけとは？」  
10:00～11:40 ウィンクあいち1105会議室【愛知県名古屋市】  
担当：山上 敏樹
- 3月11日(水) 子ミュカ®ゼミナール第60回【発達段階シリーズ⑤】  
「子どもの発達と感覚について  
～遊ぶことには意味がある～」  
10:00～11:40 ウィルあいち セミナールーム3【愛知県名古屋市】  
担当：谷川 未左子
- 4月25日(土) 子ミュカ®ゼミナール第61回 特別編  
「5周年記念イベント」



## 親育メンバー募集中

「親育メンバー」を随時募集しております。3種類の会員制度がございます。お申込は、HPからどうぞ。(講座受講で入会金免除、入会月で会費が異なります)

- ▼正会員 一緒に活動して、盛り上げていきたい。  
入会金：10,000円 年会費：12,000円 (月1,000円)
- ▼利用会員 イベントや講座に参加したい。  
入会金：1,000円 年会費：6,000円 (月 500円)
- ▼賛助会員 私たちを応援したい。  
入会金：10,000円 年会費：12,000円 (月1,000円)

私達が正会員メンバーです (50音順、令和2年1月1日現在。メンバーの紹介はHPにて)

代表理事) 黒田 忠晃 副代表理事) 山上 敏樹 理事) 横山 美八子 監事) 岩附 あずさ  
正会員) 縣 敦子 阿部 ゆり 岩淵 賢次 岩淵 優子 太田 秀樹 久野 由詠 谷川 未左子  
野村 浩史 林 佳奈 平野 弘子 眞柄 文子 松本 紀子 村野 政章 山本 百百代

NPO法人  
**親育**  
ネットワーク  
「親育」を通じて、未来ある社会を

〒470-0122  
愛知県日進市蟹甲町中島277-1 (にぎわい交流館内)  
電話：0561-76-3475 (La C Lo内)  
E-Mail：oyaiku.network@gmail.com  
HP：「親育ネットワーク」で検索  
<http://www.oyaiku-net.org/>



# おやいく通信

NPO法人 親育 ネットワーク



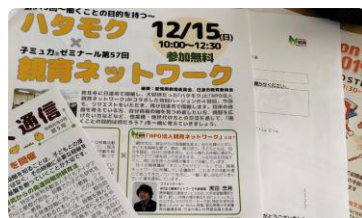
令和2年1月  
第6号

学生×社会人

ハタモク  
(働く目的)

## 今年も大好評でした！

令和元年最後の子ミュカゼミナールは、特別編「ハタモク×親育ネットワーク(後援：愛知県教育委員会、日進市教育委員会)」を開催しました。4回目となる今回も大好評でした！



## 「働く目的とは何か？」を語り合う

今回は、中3、高校生、大学生、社会人を合わせて32名の方にご参加頂きました。

ハタモクさんのご紹介をさせて頂いた後、早速セッションへ。セッション1は、「ハタモクガタリ」で、働く目的は何かを考えて頂き、理由と合わせて伝え合いました。

セッション2では、好きな教科やしたい仕事、好きなことを振り返って語り合う「シゴトガタリ」。幼少の頃の原体験には、志に繋がる大切なことが眠っていることがあります。はじめは緊張感がありましたが、セッションが進むにつれ、学生も社会人も真剣に場に入り込んでいきますので、その熱気がすごく、暖房を止めて、窓も開けるほどでした。そして、セッション3では、この2つのセッションを踏まえての「ミライガタリ」。どんな自分で在りたいだろうかについて語り合いました。

様々な生き方、働き方、夢がありました。その人その人で使命宿命は異なるからこそ、何が正解というものはありません。いかに様々な人と出会い、自分と繋がり、目的を持って生きるか。そして、自分の人生は自分で決めること。学生も社会人もそれぞれに気づきがある時間となりました。



## 参加者の声

- 夢をしっかりと持ち、自分についてしっかりと見つめ直すこともいいなと思いました。
- ぜひまた参加したいです。年に1回自分の人生、生き方の棚卸しができそうで、いいですね！
- 今まで考えたことなかった職業についても調べたい。
- 行動すると経験も積み重なり、考えも広まると思いました。
- 様々な価値観や考え、気づきが得られて、とても良い時間となりました。



**阿部 ゆり** 商品企画デザイナー

子どもの頃に遊びも創作もワクワク楽しみながらアイデアを出し、固定観念にとらわれずにイメージを広げ、トライ＆エラーを積み重ねて無から有を創る経験と達成感は宝物。いつの時代も発想力、想像&創造力は人と社会と未来を豊かにする…と仕事を通して感じてきました。子どもはみんなクリエイター！子どもの力を信じて自己肯定感と余白を大切に、心豊かなまわり道を楽しみませんか。



**山本 百代** 特定非営利活動法人 Earth as Mother 理事長

磁器工芸人形作家の元経験で、子ども達に無から有を作る楽しさ、日進市共育ファームでも農業を、親子体験を通じて、自分達で作った米・野菜で料理し、子どもの時から作る楽しさ美味しさ、安全性をNPOの仲間と共有。イベントに役立て、青少年育成アドバイザーとして、子ども達に未来を渡せるコミュニティ構築をするために、教育を見直すために残る人生を掛けて全力で活動中。

**子ゼミレポート**

○9月 看取りの事例から関わり方を学ぶ

特定非営利法人日本ICDの会（全国ICD・CRT-D患者家族の会）理事の野村浩史さんにご登壇いただき、目の前の人のためにできることと、できないことをクリアにした上で、どう相手を支えていくかが鍵になることを学びました。テーマは「看取り」であったのですが、「支える」という点は、看取りに限らず、様々な場面で出てくること。相手の心に寄り添い、信頼関係を築いて、どう寄り添えるかを改めて考える深い意見交換の時間となりました。



○10月 家族の笑顔と健康を守る食事（共催：La C Lo）

管理栄養士の林佳奈さんにご登壇いただきました。食事の役割は何かをグループで考えていった後、「脳機能を高める栄養」「子どもの成長を促すおやつとは」、「血糖値について」、「お母さんのストレスケアにおすすめおやつ」、「鉄欠乏について」、そして、爪等を見て、身体の状態をチェックする方法と理想の食事について教えていただきました。「なるほどー」と思うことばかりで、参加された皆様もたくさんメモを取る様子が見られました。取り入れられるところから、無理なく改善していきたいものですね。

○11月 心を強くする3つの秘訣（共催：合同会社ふぁみりいぐっど®）

代表理事の黒田が登壇しました。現場やご自身の子どもたちや保護者の方と繋がることも大切ですが、自分自身としっかりと繋がるのが大切。自分と繋がり、他者と繋がる。今自分に起こっていることに対して正面から向き合い、自分の気持ちを大切に、自分の軸で動く。その勇気を持って動くことが、新たな自分を切り拓きます。自分の好きなこと、周りの方々が自分を支えてくれるのです。



ここ数年、いろいろ手放して来ました。わたしは、モノゴトを終えることが苦手で、元のパートナーにも、終えることや辞めることが苦手過ぎると言われ、その通りだと思ったことがあります。

そんなわたしですから、我が子の旅立ちを見守り手放し送った帰り、車の運転が出来なくなる程ヒューヒュー泣きながら帰ってきました。他にも、仕事を手放したり、大事な人を見送ったり。手放す勇気や、嫌われる勇気を、わたしは持ってなかったことに気付き、学びの多い令和元年でした。

子育て中、きちんと丁寧に子どもに手を掛けてあげることが、デキルお母さんで、イイお母さんという思いと同時に、子育てほど理不尽な仕事はない、と思っていた時期があります。

親元を離れて暮らすこと30年。子ども達が小さい頃は、よく実家に行ったけど、上の子が中学に入った頃からはなかなか帰れなくなりました。今は、年に1度帰れるかどうか。帰る度に年老いてく両親に、あと何度会えるだろうと切なくなります。

\*

子どもが、公共の場で泣いた時の息の詰まる空気。保育園や学校で何かやらされた時の先生の物言い。逆に何かされた時の空気。小競り合いを繰り返して、子どもの内に痛みを知ることは大事なことだと思います。だけど、子ども達のすることを、見守り続けることは難しかったです。

過度に親が子どものすることに口を出し、自然な痛みを知らないまま大人になるとどうなるのだろう、と思います。

中学も高校も、先生から「もうお前ら帰れ！」と言われて、ホントに帰って大事になったり、先生のおかしな言動には自分達で抗議もしたり、先生達とやり合ったりもよくしていました。今はできないのか、親が出てきて意見する。わたしも子どもの学校に行ったことあるから、やってしまったけど。。わたしの子どもの頃は自分達で意見してたなー、と。

わたしの親は、ほとんどわたしのしていたことを知らないと思っていましたが、結構知ってても普通にしてたから、今思えばびっくりします。

\*

「親は親、子どもは子どもでいい。」と、今は思います。そして、子どもと親は一心同体じゃなくていいなと。それより夫婦一緒に大事にしないと。だったなと今は思います。何かしてあげてる方が楽で、気持ち良いし、気分もよい。手を出さず、ただ見守ることや、わかって嫌われるようなことをしたり言ったりは、ホントに大変で気持ちも凹み気分も悪い。それを取替えることは本当に大変でした。その時々には与えられる痛みを知って、やっと親業やヒト業が少しわかってきたかもと感じています。痛みを知ると、足るを知ることができるのかも。そう思うと、子ども達がその時々で痛みを知っていくことは、とても大切なことだと思える今日この頃です。